

# 施工要領書

## 気密・(断熱)型床下収納庫 PKC60(X/D)型

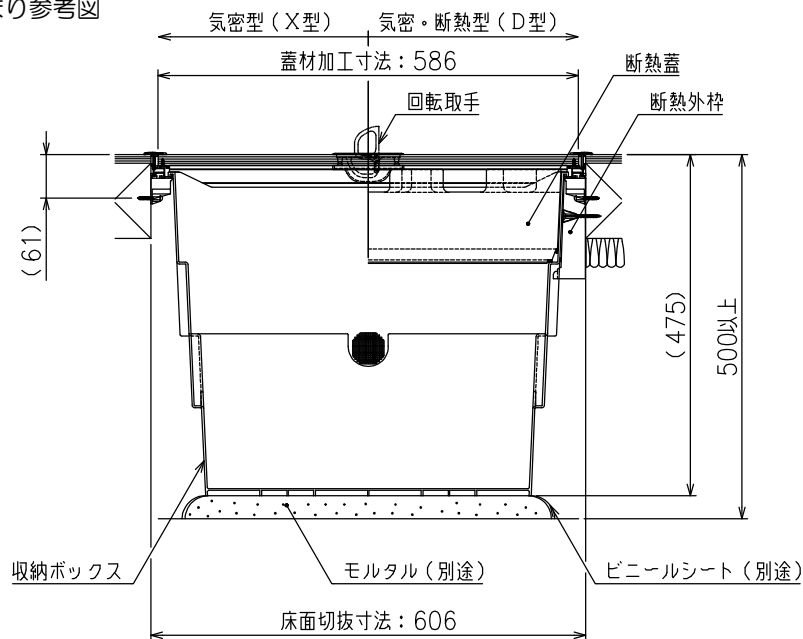
### 安全に関するご注意

- 断熱材(断熱蓋・断熱外枠)は
  - ▼火気厳禁/可燃物です。火気を近づけないでください。
  - ▼有機溶剤・石油厳禁/シンナー等に接触させると溶解します。
  - ▼直射日光厳禁/紫外線によって劣化します。
  - ▼高温厳禁/変形するので70℃以上のものを近づけないでください。

### 使用上の注意

- 指づめ等の恐れがありますので、蓋を開けた際は横に置いてください。
- 床面や部材を傷つける恐れがありますので、横に置いた蓋の上にはのらないでください。
- 転倒や落下の恐れがありますので、使用後はすぐに蓋を閉めてください。

納まり参考図



### 1. 付属部品

付属部品名	入数	付属部品名	入数
取手	1	蓋補強材	2
回転取手取付けキャップ	1	なべタッピンねじ(4×12)	8
なべ小ねじ(M4×16)	2	通気口隠しシール(2種類)	各1
平座金(呼び径4)	2	丸棒気密材(2.3m)	1
さらタッピンねじ(3×12)	8	断熱外枠ホルド樹脂*	4
外枠受け樹脂	12	さらタッピンねじ(3.6×50)*	4
丸木ねじ(4.1×32)	12	※断熱型のみ	

### 2. 床組み

①床面切抜寸法で点検口を設置する床面を開口し、床面から地面まで500mm以上を確保し補強根太を全周にまわします。

床面切抜寸法(mm)

606×606

- △床面は床面切抜寸法通りに開口してください。強度が不足する場合があります。
- △床の強度は、束を入れ十分確保してください。
- △切り抜いた床材は、蓋材に使用してください。
- △改築の場合、下面の配管にご注意ください。

#### ☆施工のポイント(断熱型の場合)

次工程「3. 外枠の取付け」の前に、「4. 断熱外枠の取付け」に備えて断熱外枠を床下に入れておく施工が容易になります。

### 3. 外枠の取付け

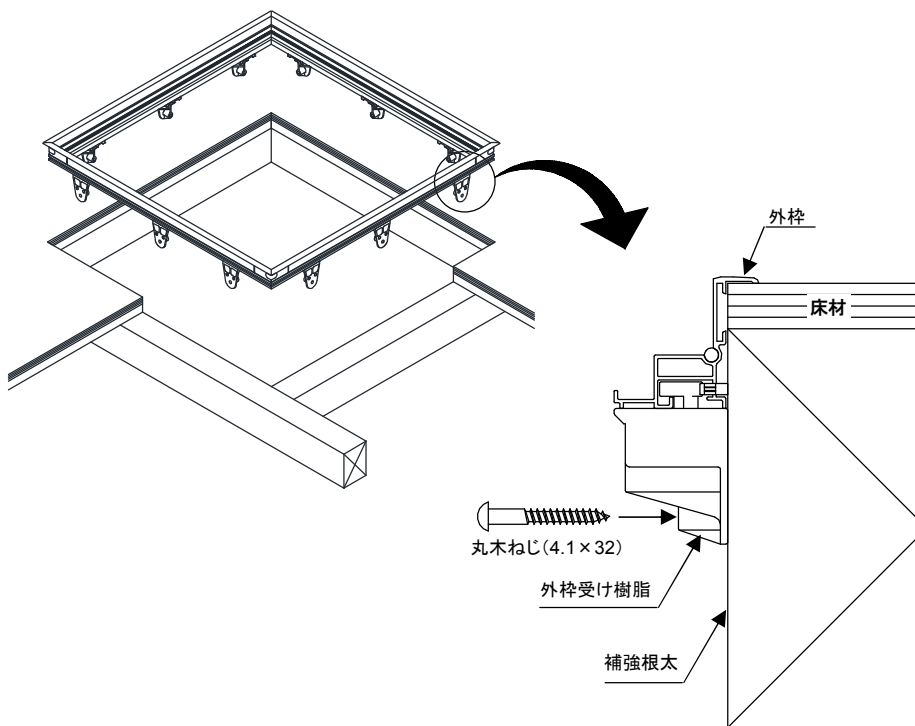
①外枠外側の穴が開いている箇所に外枠受け樹脂を取付けます。(各辺3箇所×4辺:計12箇所)

I. 外枠裏側の溝に、外枠受け樹脂を横向きに差し込みます。

II. 外枠受け樹脂の上部が外枠外側の穴にはまるように回転させます。

III. 外枠外側の穴から、外枠受け樹脂の上部が少し出る程度まで差し込みます。

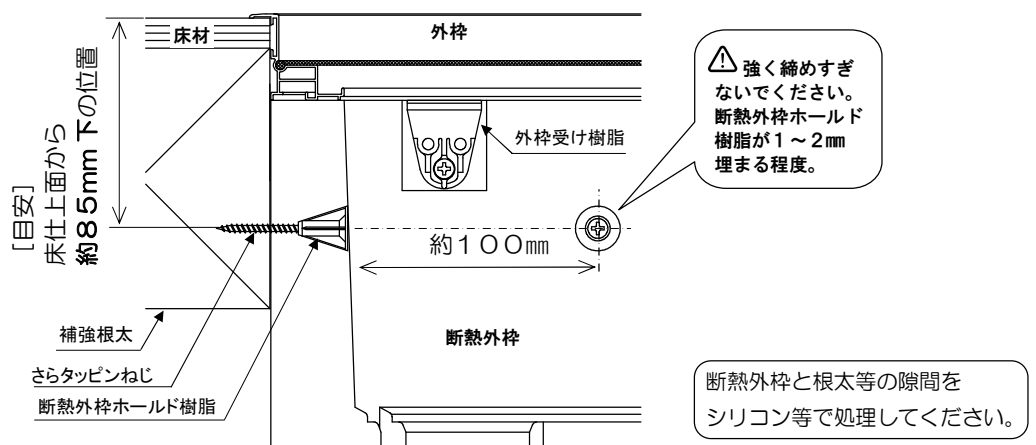
- ②開口した床面に外枠をはめこみます。
- ③外枠受け樹脂を根太に押し当てて、丸木ねじ(4.1×32)で固定します。(各辺3箇所×4辺:計12箇所)



△蓋および外枠の加工寸法の対角寸法は同寸法としてください。

### 4. 断熱外枠の取付け ※断熱型のみ

①断熱外枠を床下に入れ、凹凸のある面を上にした状態で、外枠の下に断熱外枠ホルド樹脂とさらタッピンねじ(3.6×50)で取付けます。



△強く締めすぎないでください。断熱外枠ホルド樹脂が1~2mm埋まる程度。

断熱外枠と根太等の隙間をシリコン等で処理してください。

【断熱外枠ホルド樹脂取り付け位置】  
◆断熱外枠の対向2辺各2箇所(計4箇所)  
◆断熱外枠内側側面にある×印の位置(床仕上げ面から85mm下の位置)

断熱外枠がふくらんだ場合は、ねじをゆるめて調整してください。

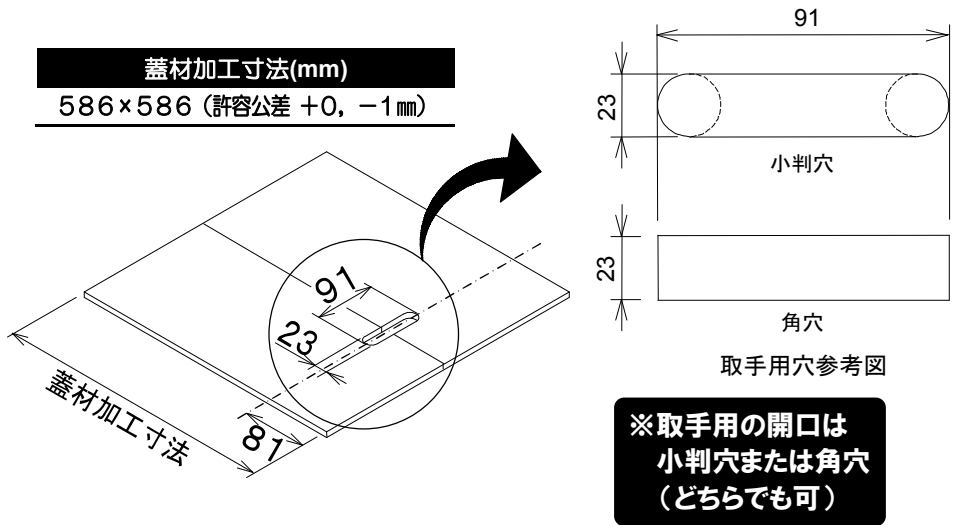
△断熱外枠ホルド樹脂にて断熱外枠を固定した際に、断熱外枠がふくらんだ場合はさらタッピンねじ(3.6×50)をゆるめて調整してください。

## 5. 蓋材の加工

①蓋材加工寸法に、蓋材（切り抜いた床材）を切断します。

※蓋材厚みの合計が15mmになるようにします。

**重要** ②下図のように端から81mm・センターの位置に取手用の開口（小判穴または角穴（23mm×91mm））を設けます。



- △ 板材で継ぎ目がある場合は、継ぎ目が中央にくるように切断し、必ず捨て貼り（接着）を行ってください。
- △ 15mmのフロア材で2枚上繋ぎ合わせる場合は、ご使用になれません。
- △ 取手用の開口位置は必ず守ってください。

## 6. 蓋の組み立て

①内枠の1辺を外します。

このとき、外す辺の左右2辺の内枠組み立て用ねじ（2箇所）を外して、内枠1辺を外してください。

②加工した蓋材をスライドさせて内枠に入れます。

③内枠の外した1辺を再度組み立てます。

④内枠裏側よりなベタッピンねじ（3×12）で固定します。

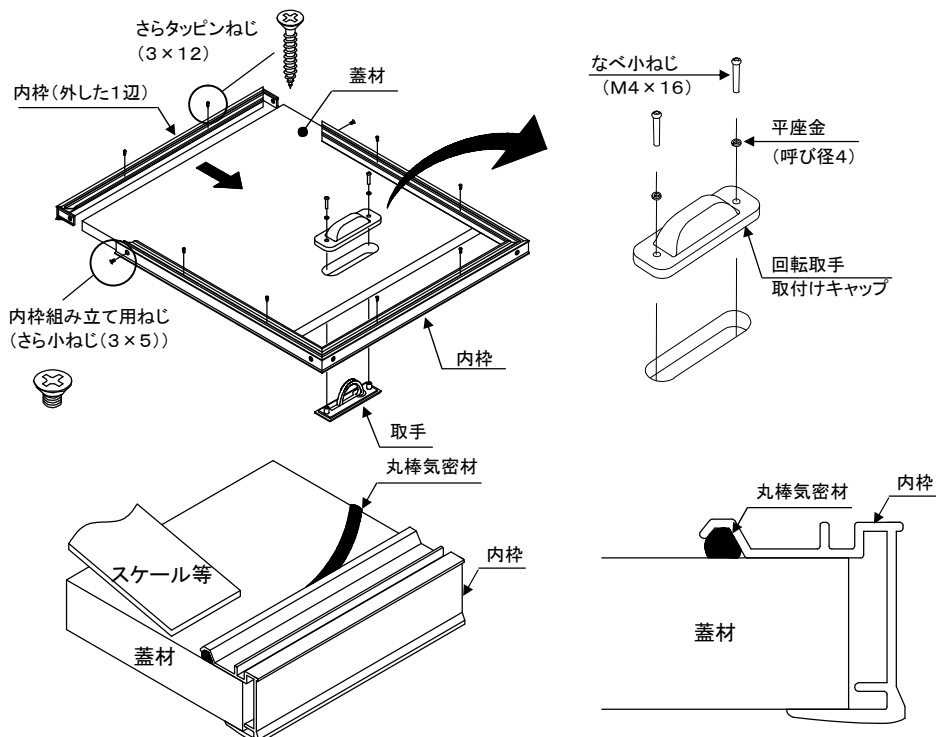
（各辺2箇所×4辺：計8箇所）

⑤組み立てた内蓋裏側の、蓋材と内枠の隙間に丸棒気密材をはめ込みます。

1辺毎に丸棒気密材をはめ込み、余った丸棒気密材を切断してください。

※丸棒気密材は、スケール等のうすい物を使用して押し込むと、はめ込みやすくなります。

⑥蓋材になべ小ねじ（M4×16）で、取手と回転取手取付けキャップを取付けます。



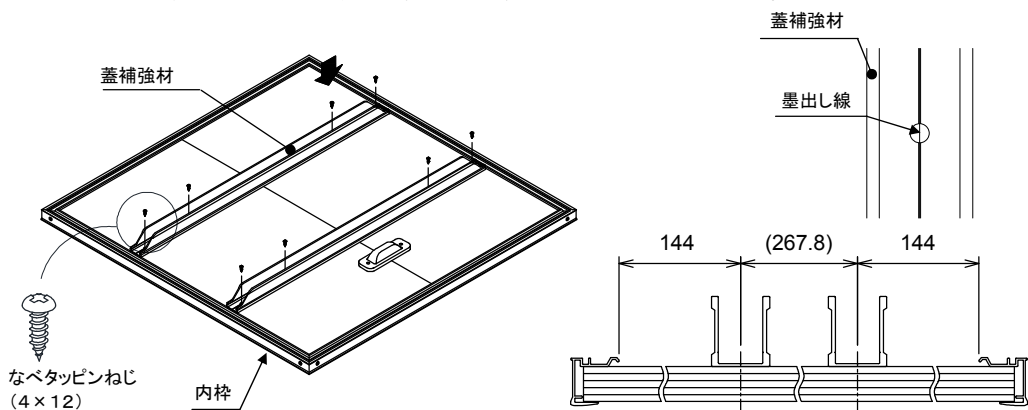
△ 蓋材が内枠にはめ込みにくい場合は、蓋材小口端部を少し面取りしてください。

## 7. 蓋補強材の取付け

①蓋材の裏面に下記寸法になるように墨出しを行います。

※このとき、板の継ぎ目と直角になるようにしてください。

②蓋補強材を①の線上に置き、蓋補強材のねじ穴の中央を墨出し線が通っている事を確認しながら、なベタッピンねじ（4×12）にて固定してください。



△ 蓋補強材は必ず上図の位置にくるように取付けてください。

## 8. 収納ボックス本体・断熱蓋・点検口蓋の取付け

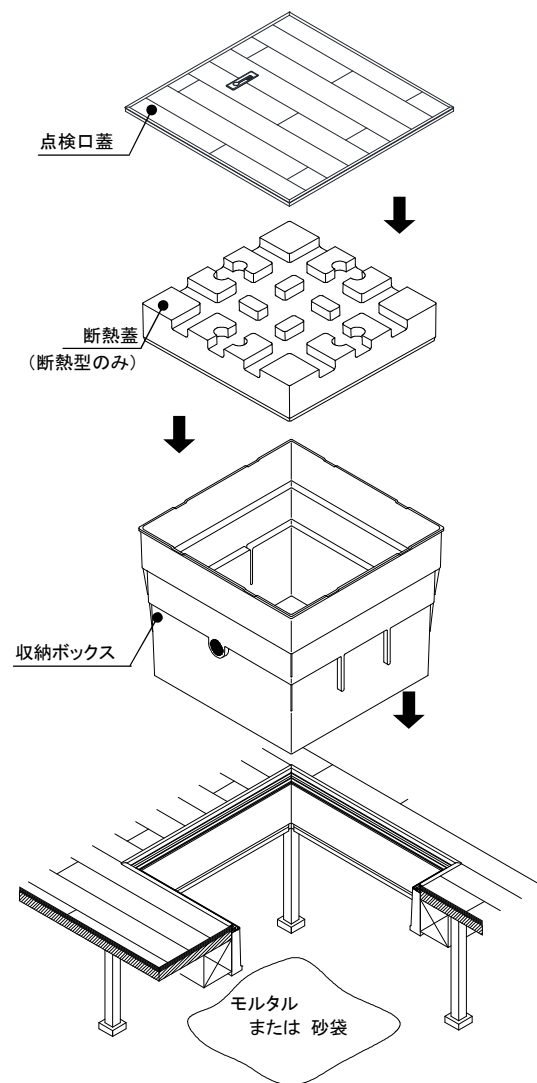
①収納ボックス本体の下部を受けるように、モルタルまたは砂袋を敷きます。

（モルタルにて施工の場合は、モルタルの上にビニールシート等を敷いてください。）

②収納ボックス本体を外枠に確実に引っ掛かるまで押し下げます。

③収納ボックスに断熱蓋をはめ込みます。（断熱型のみ）

④「5.～7.」で作成した点検口蓋をはめ込みます。



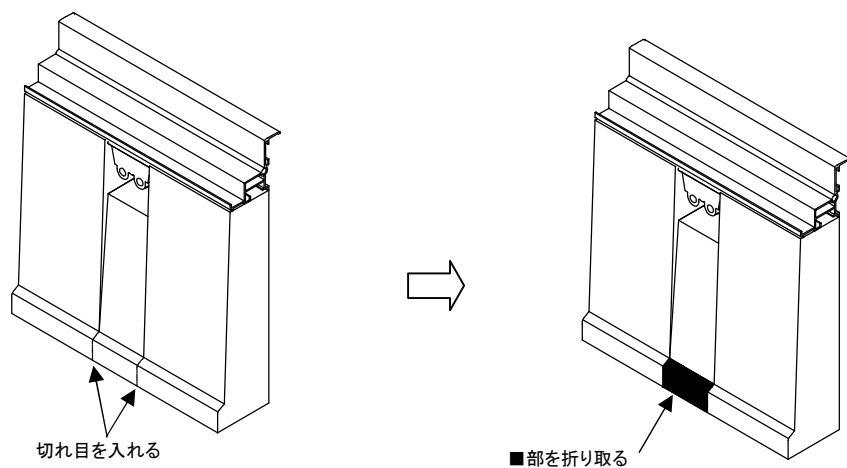
### —POINT—

収納ボックス本体の下部を受けるように、モルタルまたは砂袋を敷くと強度が増します（モルタルにて施工する場合は、モルタルの上にビニールシート等を敷いてください。）

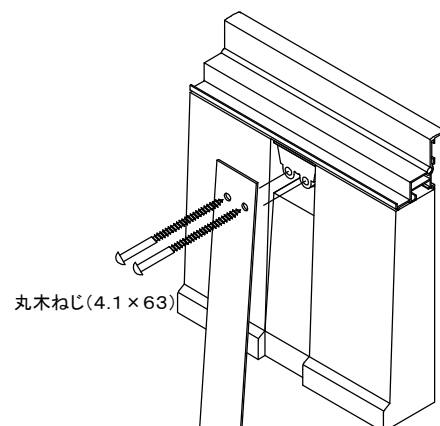
●モルタルまたは砂袋を敷き、外枠に引っ掛かるまで押し下げ、収納ボックス本体の底部をしっかりと密着させてください。  
※モルタルにて施工する場合は、モルタルが固まる前にビニールシート等をかぶせて、収納ボックスを取付けてください。

## 9. 収納ボックス用吊り金具の取付け（オプション品）

①断熱外枠中央（「4. 外枠の取付け」のA部）の下部の凸部にカッター等で切れ目を入れ、凸部を折り取ります。（対向2辺計2箇所）（断熱型のみ）



②吊り金具を①で凸部を折り取った箇所を取付けられている外枠受け樹脂に丸木ねじ（4.1×63）で固定します。



△ 反対側も同様にねじ止めします。



株式会社 **ダイケン**

本社:大阪市淀川区新高2-7-13  
☎(06)6392-5321

www.daiken.ne.jp

札幌支店 ☎(011)881-3121  
東京支店 ☎(03)3633-6551  
東京営業所 ☎(03)3633-6551  
名古屋支店 ☎(0586)77-7561  
名古屋営業所 ☎(0586)77-7561  
大阪支店 ☎(06)6392-5556  
大阪営業所 ☎(06)6392-5556

盛岡営業所 ☎(019)629-2202  
仙台営業所 ☎(022)235-4380  
埼玉営業所 ☎(048)667-9381  
千葉営業所 ☎(043)460-2010  
西関東営業所 ☎(042)722-5040

静岡営業所 ☎(054)237-5375  
岡山営業所 ☎(086)297-9100  
広島営業所 ☎(082)294-9181  
福岡営業所 ☎(092)482-8112  
特販営業所 ☎(03)3633-6552

※2017年3月より、神奈川営業所と東京出張所が統合され西関東営業所となりました



ダイケン facebook 公式ページ 公開中